

灸道湖

第192号

2023年1月



松江医療センターマスコットキャラクター松丸くん(お正月バージョン)

もくじ

令和5年「新年のご挨拶」	2
教育研修部コラム「「ぴょん！」」	3
進行性核上性麻痺・大脳皮質基底核変性症の患者・家族会（のぞみの会） オンライン医療講演会へ参加して	4
人生会議の大切さについて ～もしバナゲームを体験して感じたこと～	4～5
音健アワード2022 入賞受賞	6～7

松丸くん History	7～8
築森 元看護部長の叙勲受章について	9
新人紹介	9
開業医紹介	10
地域医療連携室だより	11
外来診療表	12



令和5年「新年のご挨拶」

院長 井岸 正

新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。今年もよろしくお願い申し上げます。

さて、私が松江医療センターに着任してすでに3年になりますが、この間の医療現場の最大の問題は一貫して新型コロナウイルス感染症でありました。3年間も新型コロナウイルス感染症に対峙しているなかで、流行に一定のパターンがあるように感じていました。すなわち、毎年ゴールデンウィーク前後、お盆前後、そして年末・年始に流行が起こっているようです。そこには日本人の活動の増減が関与しているのかもしれませんが。今シーズンもご多分にもれず、昨年11月頃より新規感染者増加に転じ、年末にかけて増加しています。本稿が皆様の目に触れるころにはこの流行の第8波が収束していることを期待しながらも、2月や3月まで引きずるのかなと心配もしています。また、流行を繰り返す毎に新規感染者数の増加が認められています。この第8波では感染者の全数把握はなされませんので、正確な数は把握できないでしょうが、経験則に従えば感染者は過去最大になるのではないのでしょうか。実際の肌感覚として、この第8波では職員やその家族の感染数は明らかに増加しております。そのように考えますと、この新型コロナウイルス感染症は短期間ではなくなるのでしょうか。実際、2回の感染を経験した方もありますので、今後も新型コロナ感染と長く付き合っていかなければならないのか

もしれません。

一方、感染者の重症化のリスクが低下しているのは確かであります。実際、多くの方が感染しておりますが入院となる方は一部であります。その原因はウイルスの弱毒化とワクチン接種の効果が考えられています。現在、入院となる方は高齢者がほとんどであり、新型コロナウイルス感染症そのものというより、基礎疾患の悪化が主体とされています。また、死亡率も季節性インフルエンザと同程度ようです。そのように考えますと、日本では新型コロナウイルス感染症は恐れるに足らずとなるかもしれませんが、感染力は極めて高いのは実感していますし、ある医療機関では集団感染のため職員と患者さんが100人規模で感染したというようなことも聞きます。統計的にもインフルエンザ流行時と同様に超過死亡が確認されています。

結局、これからどの程度長いかは不明ですが、医療機関は「ウイズコロナ」の社会に適応して医療活動を継続することが不可避であるとの認識であります。医療をしっかりと遂行しながら、患者さんの安全を守ることも使命と考えております。皆様方の一層のご理解・ご支援・ご協力をお願い申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。





～ 教 育 研 修 部 コ ラ ム ～

"「ぴょん！」"

呼吸器内科医長・教育研修部長 門脇 徹

みなさまあけましておめでとうございます！

2023年の今年は卯年。卯年の2011年に発足した教育研修部も今年で干支が一回りしたことになります。早いものです。かくいう私は卯年生まれの年男。この仕事を始めてこの春で丸24年になります。年男と人生のちょうど半分を医者として過ごしたことになるこの2023年。何やら一人で感慨に浸る新年です。

うさぎには跳ねるという特徴があるため、景気が上向きに跳ねる、回復すると言われており、株式市場にとっては縁起のいい年として歓迎されるんだとか。また飛躍や向上の象徴ともされており、新しいことに挑戦するのに最適な年とも言われているようです。ん？なんかテンション上がってきませんか？

昨年11月には第12回松江呼吸器セミナーが通常開催できました。2020年は泣く泣く中止。2021年は当院職員のみを対象にして小ぢんまりと開催。コロナ禍で得たノウハウを活かして3年ぶりに通常開催ができたのです。関係者の皆様、またご参加いただいた皆様には心から感謝いたします。私も本セミナーでは2つ講演させていただきました。コロナ禍ではWebセミナーの講師を頼まれることが多くなっており、それに慣れてしまっていた自分。リアル講演は久しぶりでした。やはり講演を聴いて頂いている皆さんのリアクションを見

ながら講演できるのは演者としてホントに楽しかった。主催者としても感慨深く、嬉しく思いました。

"コロナだから・・・"と制限が加わることで多くなっています。もうしばらくはガマン、ではありますが、こうして少しずつ前に行けていることは大事。しんどいながらも少しずつ前進していければ、努力を続けていれば、あるときに「ぴょん！」とジャンプができるはず。その「ぴょん！」を皆さん待ち焦がれていると思いますが、それには日々の小さな前進が重要だと思うのです。少しずつ少しずつ。「ぴょん！」と跳ねられる時まで。多分もう少し。

教育研修部は皆様の「少しずつ」とその後続くであろう「ぴょん！」を今年も応援していきたいと思います。本年も教育研修部を何卒よろしくお願いいたします！



進行性核上性麻痺・大脳皮質基底核変性症の 患者・家族会（のぞみの会） オンライン医療講演会へ参加して



リハビリテーション科 理学療法士 山口 恭介

昨年10月16日に進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症の患者・家族会「のぞみの会」のオンライン医療講演会に講師として参加しました。

私は「LSVT BIG」というパーキンソン病に対する運動療法の資格を持っており、当院ではパーキンソン病や関連疾患に対して短期集中リハビリ入院を行っているため、患者さんへ関わる機会が多いです。日々のリハビリだけでなく、退院前にカンファレンスへの参加や退院時に訪問へ行く機会が多いです。そこで得た経験を理学療法士の観点から疾患の特徴やパーキンソン病との違いを踏まえた在宅生活での注意点や介助のポイントをお話しました。

当院での短期集中リハビリテーション入院を行う目的と期待できる効果をモデルと参考文献を用いて説明し治療プログラムについてお話しました。パーキンソン病やパーキンソン病関連疾患の運動療法に対してのエビデンスは確立されていないため、当院での取り組みやリハビリの内容等を患者さん・ご家族に向けて発信していくことはとても重要なことだと思いました。

講演会はオンライン開催であったため、全国のぞみの会に向けて配信されました。当日はかなり緊張しましたが、日々の臨床業務とは違った充実感を得ることができました。翌日には講演会に参加されたご家族よりお礼の言葉を頂くことができ、講師を務めて良かったと思いました。これからもリハビリの質向上に努め患者さん・ご家族により良いサービスを提供していきます。

テーマ：専門・認定看護師コーナー

人生会議の大切さについて ～もしバナゲームを体験して感じたこと～



1階病棟副看護師長 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 福場 聖子

「人生会議」という言葉、ご存じでしょうか？

「人生会議」とは、もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、ご家族や医療ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのことです（厚生労働省ホームページより引用）。今後の治療・療養について患者さんやご家族と医療従事者があらかじめ話し合う自発的なプロセスのことをアドバンス・ケア・プランニング（以下、ACP）といい、厚生労働省ではACPの普及活動を行う中で、より馴染みやすい言葉になるよう「人生会議」という愛称にされています。誰でも、いつでも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。命の危険が迫った状態になると、約70%の方が医療やケアなどを自分で決めたり、望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。人生の最期にどうありたいか、誰もが大切なことだと分かっているのに、なんと

なく、「縁起でもないから」という理由で避けていました。近頃は、終活といった言葉も聞かれるようになってきましたが、まだまだ話しぶらい世の中で、実際にどのように人生会議をしたらいいのかわからない方も多いかと思います。そんなとき、もしバナゲームをしてみるのも良いかもしれません。「もしバナゲーム」とは、カードを使って「あなたにとって大切なもの」を選択するゲームです。もしものための話し合いは難しい話題ですが、ゲームを通して、ご家族や友人に願いを伝え、理解してもらうきっかけづくりになります。自分自身が大切にしていることを考え、言葉にすること、また他のプレイヤーの価値観を聞くことで、新たな気づきを得ることができます。一人でも何人でもできるゲームです。35枚のカードに、重病や死の間際に「大事なこと」として人がよく口にする言葉が書いてあります。たとえば、「どのようにケアしてほしいか」「誰にそばにいてほしいか」「自分にとって何が大切か」という内容です。自分自身にとって何が大切かを考えながらカードを選び、プレイヤー同士でお互いが選んだカードを共有して話し合います。(iACPホームページより引用)

松江医療センターの専門看護師・認定看護師は院内において人生会議を広める上で、まずは自分たちが人生会議をして体験してみようということになり、「もしバナゲーム」を行いました。まず、35枚のカードのうちプレイヤーに5枚ずつが配られます。その5枚の中から1枚不要なカードを選び、交換していきます。プレイヤー全員の交換が必要なくなったら、5枚のカードから特に大切なカードを3枚選び、その理由を考えます。そして一人ずつ選んだカードを披露して、それぞれの思考過程を他のプレイヤーに説明していきます。実際にゲームをしてみて、私自身は5枚の手持ちカードから「ユーモアを持ち続ける」「呼吸が苦しくない」「痛みがない」のカードを選びました。手持ちのカードには医療やケアに望む内容もありましたが、今の私は「家族や子供と笑っていたい」「家族にはそばで笑っていてほしい」という思いが選択の基準になりました。治療やケアに望むことも、この3つのカードを基準に選択できると思ったからです。

また、なぜそのカードを選んだのか、プレイヤー間でも意見交換しました。医療機器につながるのは嫌だという思いや、家族に負担はかけたくないという思いなど、共通するものもあれば、真逆もあり、思考過程も人それぞれでした。自分の価値観、患者さんの価値観、ご家族の価値観、人の数だけ考え方も違うものだと感じることができました。

数年前の私であれば、また、違うカードを選んでいただけないかと思います。また、この先、考えが変わっていくだろうとも思いました。当院に入院や通院されている患者さんやご家族も、おそらく時間の経過や置かれている立場によって、お気持ちが変化していくだろうと推測できました。「もしバナゲーム」を体験することで、患者さんやご家族から定期的に今の気持ちを聴くことの大切さについて認識を新たにすることができました。

※次回はもしバナゲームの内容について詳しくお伝えします。



もしバナカードの一部



私が最終的に持っていたカード5枚



音健アワード2022 入賞受賞

療育指導室長

野津 悦子

この度、日本音楽健康協会が主催する「音健アワード2022」に当院の公式キャラクター松丸くんのダンスを応募したところ、全国からの170あまりの応募作品の中から10作品に贈られる入賞を受賞しました。

「松丸くん」は、当時の全国的なゆるキャラブームにのって、当院でも応募を募り、筋ジストロフィーの入院患者さんのデザインで平成26年に誕生しました。

その後、ボランティアさんのご協力があり、当院の患者さんの作詞、島根県出身のシンガーソングライターの山根万里奈さんの作曲で「松丸くんの歌」が完成しました。

その「松丸くんの歌」に2階病棟の看護師が振り付けを考え、とてもコミカルな「松丸くんダンス」ができあがりました。



この「松丸くんダンス」は行事などで踊り、患者さんに見ていただいていたが、この度、「豊

かな未来に向けた、楽しく笑顔あふれる音楽活動」をテーマに開催された「音健アワード2022」に応募したところ、賞をいただけることになり、11月30日に東京で行われた表彰式に招いていただき、松丸くんが出席して参りました。



当日は入賞を受賞した10作品が表彰されたあと、それらの作品から、さらに特別賞や最優秀賞が選出されました。残念ながらそれらには選ばれませんでした。審査員の方から

の講評ではこの「松丸くんダンス」が患者さんとボランティアさん、職員が一緒になって作りあげたものであったことを高く評価していただきました。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響などで、病院のふれあいまつりなどが開催できない状況ですが、また再開できたときには、患者さんだけでなく、地域の方にも見ていただくなどして、楽しんでいただきたいと思います。今後も職員とボランティアさん、そして職員が協力して、様々な活動にチャレンジしていこうと思います。

松丸くん History

2014年 10月 松丸くん誕生

当時の全国的なゆるキャラブームに乗り、当院でも公式キャラクターのデザインを大募集！

地域の方や患者さんからの多数の応募作品の中から、筋ジストロフィー病棟に入院する患者さんの作品が選ばれました。



2015年10月 動く松丸くん誕生

徳島元院長の英断で、動く松丸くんを作成。

10月の「ふれあいまつり」で初お披露目になりました。



2016年 ゆるキャラグランプリ参戦

全国ゆるキャラグランプリ2016に参戦!!
結果は、全国1414の出場ゆるキャラの中で第635位。
全国の壁は厚かった…。



2017年4月 松丸くんの歌 誕生

長年、当院で活動してくださっていたボランティアさんの協力があり、当院の筋ジストロフィー病棟入院中の患者さんの作詞、島根県出身のシンガーソングライターの山根万里奈さんの作曲による「松丸くんの歌」が誕生！

2018年9月 山根万里奈さん&松丸くんライブ開催

当院の「ふれあいまつり」でシンガーソングライターの山根万里奈さんがライブを開催！松丸くんも参加して、会場はとても盛り上がりました！



2019年冬 松丸くんダンス完成

2階病棟の看護師さんが「松丸くんの歌」に振りをつけて、「松丸くんダンス」が完成！！病院内の行事などで患者さんに見ていただき、大好評でした！



2022年11月 音健アワード2022 入賞受賞

日本音楽健康協会主催の「音健アワード2022」において、170点あまりの応募作品の中から10作品に贈られる入賞を受賞！東京での表彰式に松丸くんが出席しました！！



築森元看護部長の叙勲受章について

平成28年4月から平成30年3月まで当院看護部長として在職されました築森恭子氏が、その功績を称えられ瑞宝単光章を受章されました。

これは国家または公共に対し長年にわたる看護業務へ寄与した功績に対し授与されたものです。

院長、看護部長、副看護部長、看護師長らに囲まれた懇談会が催され、在職時の思い出が語られていました。氏の慕われる人柄が表れています。



新 人 紹 介

神経難病患者さんに関わって

4階東病棟 成瀬 穂香



私は米子医療センター附属看護学校を卒業し、令和4年4月から看護師として松江医療センター4階東病棟で働いています。4階東病棟には、パーキンソン病やALS、多系統萎縮症などの疾患を持った患者さんがおられます。

患者さんの中には、文字盤や瞬きでコミュニケーションをとる方がおられます。入職してすぐに、先輩看護師が患者さんと文字盤や瞬きでのコミュニケーションをとっている姿を見た時、とても驚きました。自分に患者さんの伝えようとされる言葉がとみとることができるのか、とても不安に思いました。私も実際に文字盤や瞬きで患者さんの思いを聞くけど、時間がかかってしまったり、間違えることも多かったです。

ある患者さんに関わる中で、文字盤を使っている患者さんが伝えようとされている言葉が分からず、何度も質問し時間もかかってしまったことで患者さんを怒らせてしまいました。私はとても悔しい気持ちになりました。そして、その患者さんの部屋に行くとまた怒られてしまうのではないかと、その患者さんとの関わりがとても怖くなっていました。

しかし、先輩看護師がその患者さんに関わる姿を見たり、患者さんの行動のパターンやこだわりを知っていくうちに、患者さんの伝えようとされている事がだんだん分かるようになっていきました。その患者さんのナースコールが鳴り、向かうと何かを訴えておられる様子でした。私が「吸引ですか？」と聞くと、笑顔でうなずかれました。患者さんの伝えたいことが分かり、すごく嬉しかったし、とてもやりがいを感じました。患者さんに関わる中で、患者さんにきちんと向き合い患者さんを知るという事がとても大切だと実感しました。

これからも患者さんとのコミュニケーションで困ったり、不安に思ってもしっかりと向き合い、患者さんが今何を望んでおられるのか考えて看護したいと思います。

開業医紹介コーナー

病病・病診連携 No.39

医療法人 大学前のつ内科クリニック

松江医療センターの先生方、職員・スタッフの皆さま、いつも大変お世話になりありがとうございます。当クリニックは内分泌、特に甲状腺を専門とし、島根県で最初の日本甲状腺学会認定専門医施設です。婦人科専門医とともに内分泌・婦人科を看板として診療を行っています。そもそも私と医療センターとのかかわりは、古く、島根医大附属病院開院（1979 年）からになります。喀痰の塗抹・培養で結核菌が検出されれば、直ちに貴センター転院の手続きを取らせてもらっていました。現在、胸部 CT 検査で偶発的に甲状腺に異常が認められる場合などに当クリニックにご紹介をいただいております。先日も貴院からご紹介いただいた患者さんの甲状腺細胞診で、乳頭癌を早期に発見することができました。患者さんともども感謝いたしております。今後も引き続きよろしくお願い申し上げます。



医療法人大学前のつ内科クリニック 理事長 野津和巳

地域医療連携室だより第49号

2023 年 1 月



【時間外の対応について】

呼吸器疾患で緊急にご紹介いただく患者さまにつきましては 24 時間対応させていただいております。

夜間・休日に関わらず下記にご連絡ください。

☎0852-21-6131（代表）または 0852-24-7671（地連）

療養介護サービスとは

療養介護とは、長期の入院による医療的ケアに加え、常時の介護を必要とする障害者の方へ、医療機関において機能訓練、療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護、日常生活上の世話などを提供するサービスです。

このサービスは、国の制度（障害福祉サービス）として提供され、介護保険とは別の制度になっています。

療養介護の対象者の概略は次の通りです。

- (1) 気管切開に伴う人工呼吸器管理を行っている者（障害支援区分6）
- (2) 次のいずれかに該当する者（障害支援区分5以上）
 - イ 重症心身障害者又は進行性筋萎縮症患者
 - ロ 医療的ケアの判定スコア（基本スコア及び見守りスコアの合算）が16点以上の者
 - ハ 行動関連項目¹⁾の合計点数が10点以上かつ医療的ケアの判定スコアが8点以上の者
 - ニ 遷延性意識障害者²⁾であって、医療的ケアの判定スコアが8点以上の者
- (3) (1)及び(2)に準じる者として市町村が認めた者

「医療的ケアの判定スコア」はインターネット等で検索して確認することができます。

なお、当院では重症心身障害、筋ジストロフィー、神経難病疾患等の患者さんを療養介護の対象としています。

松江医療センターでは、国立病院機構が提供する政策医療において「セーフティネット医療」を提供しており、療養介護は「セーフティネット医療」のなかの一つです。

- 1) 厚生労働大臣が定める基準（厚生労働省告示第五百四十三号）別表第二を参照
- 2) 厚生労働大臣が定める基準（厚生労働省告示第二百三十六号）参照

参考：厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 事務連絡（令和3年3月23日）

「令和3年度報酬改定における医療的ケア児に係る報酬（児童発達支援及び放課後等 デイサービス）の取扱い等について」

外 来 診 療 表

お気軽にご相談下さい

令和5年1月1日現在

診療科	曜	月	火	水	木	金	専 門 領 域
呼吸器内科	岩 本(初)	西 川(初)	木 村(初)	門 脇(初)	池 田(初)	【呼吸器内科】 井岸 正 池田 敏和 小林賀奈子 木村 雅広 門脇 徹 岩本 信一 西川恵美子 坪内 佑介	【院長】呼吸器一般 【統括診療部長】呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般 呼吸器一般
	西 川	小 林	岩 本		木 村		
	井 岸	門 脇	池 田	坪 内	小 林		
循環器内科						生 馬	
脳神経内科 (予約優先)	中 島 (完全予約制)	古 和	深 田	足 立	交替制		【循環器内科】 生馬 勲 循環器一般
	中 野	下 山		細 田			
呼吸器外科	荒 木		目 次			荒 木	【脳神経内科】 中島 健二 古和 久典 足立 芳樹 中野 俊也 細田 義人 下山 良二 深田 育代 【名譽院長】脳神経内科 (完全予約制) 【副院長】脳神経内科 【臨床研究部長】脳神経内科 【診療部長】脳神経内科 脳神経内科・リハビリテーション 脳神経内科 脳神経内科
消化器内科	法 正						
小児科	発 達 専門外来	久保田 (予約)	齋 田 (予約)	齋 田 松 村 (予約)	久保田 前 垣 (第2木曜のみ) (予約)	齋 田 (予約)	
	予防接種		(予約)				【呼吸器外科】 荒木 邦夫 目次 裕之 【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 松村 涉 前垣 義弘 【麻酔科】 西村友紀子 【消化器内科】 法正 恵子
麻酔科	腰痛外来			西 村 (予約)			【診療部長】呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科
特 殊	肺がん検診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	重症心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害
	睡眠時無 呼吸外来				呼吸器内科 担当医(予約)		
外 来	息切れ 外来		呼吸器内科 池田(予約)				【麻酔科】 西村友紀子 【消化器内科】 法正 恵子
	喘息 アレルギー外来					池 田 (予約)	
外 来	咳嗽外来					池 田 (予約)	診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 8:00~11:30 独立行政法人 松江医療センター 国立病院機構 呼吸器病センター 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号 電話 (0852) 21-6131(代) 地域医療連携室直通電話 (0852) 24-7671 地域医療連携室 F A X (0852) 24-7661
	禁煙外来				毎週木曜日 呼吸器内科 担当医(予約)		
来	アスベスト 外来		(予約)	(予約)	(予約)		Matsue Medical Center
	もの忘れ外来			深 田			
その他	セカンド オピニオン外来	(予 約)	(予 約)	(予 約)	(予 約)	(予 約)	

特 殊 外 来	肺 が ん 検 診	診 療 日：毎週月～金曜日 15：00～17：00（要予約） 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。 料金5,500円
	睡 眠 時 無 呼 吸 外 来	診 療 日：毎週木曜日 14：00～16：00（要予約） 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息 切 れ 外 来	診 療 日：毎週火曜日 13：00～15：00（要予約） 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
	喘 息 アレルギー外来	診 療 日：毎週金曜日 9：00～12：00（要予約） 内容と特色：成人気管支喘息、花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢 性 咳 嗽 外 来	診 療 日：毎週金曜日 9：00～12：00（要予約） 内容と特色：3週間以上長引く咳（せき）や喉の異常感でお悩みの方。
	禁 煙 外 来	診 療 日：毎週木曜日 10：00～12：00（要予約） 内容と特色：禁煙を希望される方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト外来	診 療 日：毎週火・水・木曜日 8：30～11：00（要予約） 内容と特色：石綿（アスベスト）曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行います。
	神 経 難 病 外 来	診 療 日：毎週火・木曜日 9：00～12：00 神経難病外来
	も の 忘 れ 外 来	診 療 日：毎週水曜日 9：00～12：00 内容と特色：もの忘れの診断と治療を行います。
	小 児 科 発 達 専 門 外 来	診 療 日：毎週月～金曜日 9：00～12：00（要予約） 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけなどの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っています。
来	腰 痛 外 来	診 療 日：毎週水曜日 9：00～12：00（要予約） 内容と特色：主にぎっくり腰などの痛みの治療を行っています。薬物療法や神経ブロックなどで痛みの緩和を目指します。
	セ カ ン ド オピニオン外来	診 療 日：（完全予約制）紹介状が必要です。 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・神経内科・小児科（筋ジス）の専門医（医長）が担当いたします。